

## 地域ネットワーク体制の整備

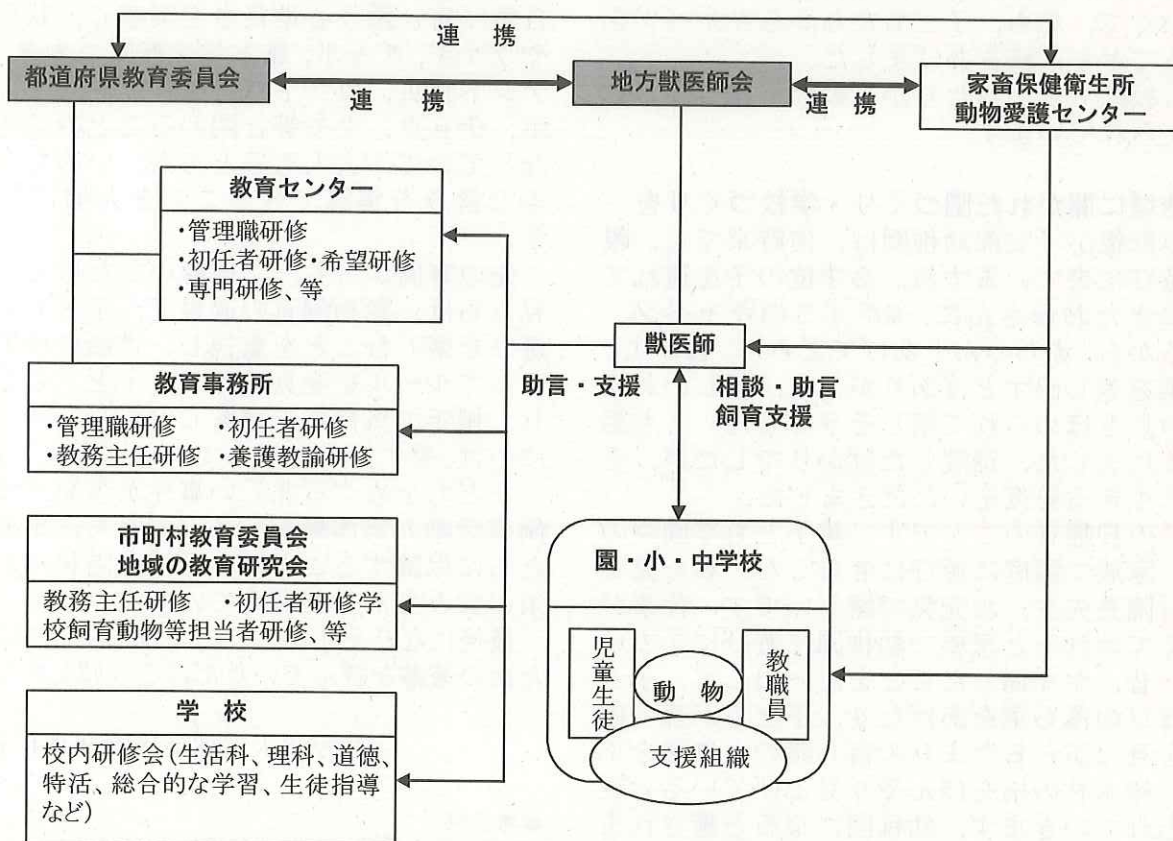
—教育委員会、学校・PTA（地域の支援組織）、獣医師・獣医師会を中心としたネットワークの整備—

處 愛美

学校・園での動物飼育の意義やその有用性についての研究や実践が進んでいるが、これらの取り組みをより効果的に進めていくためには教育行政、学校、獣医師会、地域住民が一体となった協力態勢の構築が不可欠と考える。本稿では、福岡県での教育委員会と獣医師会の連携の経験を元に地域ネットワークの構築を考えてみた。

### 1 ネットワークの構築

これまで、それぞれの自治体と地方獣医師会、または個別の獣医師グループなどとの間で連携事業が推進されてきているが、情報を共有化し、よりいっそう連携を深めていくためには、組織的な取り組みが重要である。そのためには、都道府県教育委員会（政令指定市にあっては市教育委員会）と地方獣医師会が連携し、事業の推進にあたる事が望まれる。



### 2 ネットワークの活動内容

#### (1) 研修会等の実施

##### ①目的

学校における動物の飼育及び学習中の動物の取り扱い、動物を取り巻く環境等の現状にふまえ、学校の動物の健全な飼育の条件整備や病気・けが等への対応および授業支援に関する共通理解を通して、学校教育における望ましい動物飼育を推進するとともに、命ある生き物に対する豊かな心を育む教育の推進に資

する。

##### ②内容

- ・学校教育における動物飼育の意義及びねらい
- ・学校における小動物等の飼育を通じた「命の教育」及び「豊かな心を育む教育の在り方」の具体化
- ・学校における動物の適切な飼育方法と傷疾病等への対応の在り方
- ・飼育を通しての生き物に関する知識、衛生

面の基礎知識などの提供

③方法等

- ・教育センターが計画して実施する研修会への助言・支援
- ・各教育事務所，市町村教育委員会，地域の教育研究会等が計画して実施する以下の研修会等への助言・支援
- ・管理職研修，初任者研修，教務主任研修，幼稚園教諭の初任者研修等
- ・市町村教育委員会，地域の教育研究会等の長期休業期間等における動物飼育担当教員等を対象とした研修会への助言・支援
- ・学校飼育動物等担当教員研修会
- ・生活科，理科，道徳，特活，総合的な学習の時間，生徒指導等の研修会

④実施の手順

- ・教育センター，教育事務所，市町村教育委員会等および学校で実施する研修計画への動物飼育に関する内容を取り入れることの働きかけ
- ・「学校飼育動物等担当者研修会」開催とその内容等の助言・支援についての市町村教育委員会，地域の教育研究会等への働きかけ
- ・研修会等の期日決定に伴う獣医師との連絡，調整
- ・研修会等の内容・方法等の協議および決定
- ・研修プログラムの作成，実施，および実施した研修プログラムの評価

(2) 適正飼育の体制整備

①学校（園）

- ・校長を中心とした動物飼育のに関する指導体制の構築が必要である。
- ・年度ごとの学校・学年・学級経営方針として飼育動物の関する事項を取り上げ，学校全体で意思統一を図ることが大切である。

②獣医師との協力関係

- ・日常の飼育管理について，常に獣医師に相談できるような体制を市町村教育委員会単位で構築する必要がある。

③適正飼育のための予算の確保

- ・学校飼育動物対策の適正な飼育のために獣医師が関与するにあたっては，行政から予算措置が講じられることが重要である。地方獣医師会と市町村教育委員会とが委託契約等を締結すると，学校は獣医師に相談しやすくなる。
- ・鳥インフルエンザの発生以降，学校飼育動物の衛生管理等に対する関心は高まっている。学校の危機管理という面からも，教育委員会及び自治体は，学校における適正な動物飼育を支援するため，獣医師をふくんだ「学校の安心と安全のための協議会」等を設置し，必要な予算措置を確保することが求められる。

(福岡県獣医師会)

